

横手市平鹿町浅舞字覚町後138
TEL 0182-24-3281
FAX 0182-24-3335
開館時間10:00~18:00

平鹿図書館にゆーす

企画 展示



「知りたい!」が未来をつくる

科学道100冊



「科学道100冊」は、書籍を通じて科学の面白さ・素晴らしさを届ける事業です。2017年から始まった科学道プロジェクト。これまでの科学道のリストも館内に設置していますので、ぜひご覧ください。



◀ 『「利他」とは何か』
伊藤亜紗／著 集英社



◀ リストもお持ち
頂けます!



◀ 『未来をつくる仕事図鑑1~2』

学研プラス



◀ 『モヤモヤそうだんクリニック』

池谷裕二／文 NHK出版

展示期間：～6月30日まで

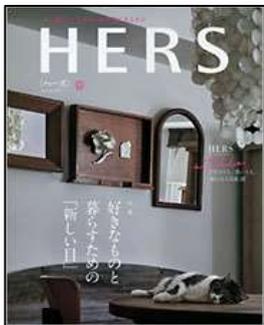
2022
えほん50
—全国 SLA 絵本委員会選定—

子どもから大人まで楽しめる絵本を集めました。

展示期間：～5月30日まで

新しい雑誌のご案内

NEW



『HERS (ハーズ)』 光文社

ファッションからコスメ、アンチエイジングといったテーマをはじめ、グルメやトラベルなどライフスタイルにまつわる情報を紹介した雑誌です。

最新号は館内でお読みください。次号が入りますと貸出できます。

本のリサイクル市 開催中です♪

保存期限の切れた雑誌や廃棄する本のリサイクル市です。

図書館入口前に設置していますので、ぜひチェックしてみてください。

※なくなり次第終了となります



チャレンジデー

日にち：5月25日(水)

チャレンジデーとは、15分以上運動や農作業など体を動かした人が何人いるかを競う住民参加型のイベントです。

今年の対戦相手は…

ぜひ参加してね♪



長崎県大村市と山形県米沢市です!

としょかんおはなしかいは

“いちにちじゅう”おはなし会

絵本を読んでほしい人に、いつでも読みます♪
声をかけてください



6月18日(土) 7月16日(土)

5・6月
休館日

毎週火曜日/毎月月初めの平日(図書整理日)

5月24日・31日

6月1日・7日・14日・21日・28日

=休館日の本の返却はブックポストへ=

“調べもの”
お手伝いします

お気軽にカウンターまで!



裏面あります

【図書館利用についてお願い】



熱がある等、体調がすぐれない場合は入館をご遠慮ください。検温を希望される方はカウンターまで。

本の除菌機

ご利用ください!!



ご自由にお使いいただけます。図書館でお借りになった本を、除菌機に入れてスイッチオン！30秒で除菌完了です。

※この機器は、紫外線で除菌をしながら風を当てることで、ホコリを取り、

新しい本のご案内 (ご案内は一部です) *貸出中の本は予約ができます

【一般書】

アルツ村	南杏子 / 著
漆花ひとつ	澤田瞳子 / 著
ショートケーキ。	坂木司 / 著
チョウセンアサガオの咲く夏	柚月裕子 / 著
剣持麗子のワンナイト推理	新川帆立 / 著
内田悟のやさい塾 春夏	内田悟 / 著
母親になって後悔してる	オルナ・ドーナト / 著
50代からの骨粗鬆症対策の献立	オレンジページ / 出版
バテない登山技術	野中怪隆 / 著
こどもスマホルール	竹内和雄 / 著
世界遺産「高野山」1200年の祈り	エディッツ / 著

【児童書】

ふしぎ町のふしぎレストラン5	三田村信行 / 作
タヌキの土居くん	富安陽子 / 著
きつねとぶどう	インソップ / 原作
すがたをかえるたべものしゃんえほん18 日本酒ができるまで	宮崎祥子 / 構成・文
あかちゃんがきた!	サトシン / 作
かまきりのちよん	得田之久 / さく・え
へそもち	渡辺茂男 / さく
アリのかぞく	島田拓 / ぶん
おばけのジョージ	ロバート・ブライト / さく・え
ママ、ママ、おなかがいたいよ	レミイ・シャーリップ / ぶん

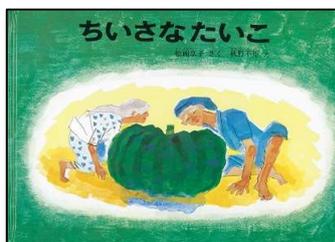
◆図書館員のおすすめ 今月の1冊 児童書◆



『漂流物』

デイヴィッド・ウィーズナー / 作
BL出版

浜辺に打ち上げられた古いカメラを見つけた少年。フィルムを現像してみるとそこに写っていたものは…？ 読んだ人それぞれの想像が膨らむ文字のない絵本です。



『ちいさなたいこ』

松岡 享子 / さく
福音館書店

親切な夫婦が育てたかぼちゃの中から、楽し気なお囃子が聞こえてきました。毎晩そのお囃子を聞くのを楽しみにしていた二人でしたが、ある日お囃子が聞こえなくなってしまいます。かぼちゃと老夫婦との少し不思議なお話です。



『おっぱい』

みやにし たつや / さく・え
鈴木出版

ぞうさんもねずみさんも、ごりらさんもぶたさんも、そしてぼくも、みんなおっぱいを飲んで大きくなります。ぼくの最後の一言に名残惜しさと優しさを感じられます。お子さんにぜひ読み聞かせたい一冊です。